

第 31 回日本臨床細胞学会九州連合会学会

学 会 長 挨拶

このたび、第 31 回日本臨床細胞学会九州連合会を平成 27 年 7 月 25 日から 26 日まで、かごしま県民交流センターで開催することとなりました。

細胞診はパピニコロウの時代から、形態の情報をもとに病変を推定し臨床医療へ貢献してきました。近年は遺伝子レベルでの病変解明が飛躍的に向上し、その成果が臨床現場にも導入されつつあります。実験室レベルで行われていた検査が、今や日常臨床の場でえられる病理検体や細胞診検体を用いて行われるようになりました。日常業務に追われる中では、基礎となる新しい知見を十分に理解できないままに日々対応している面もいなめません。

今回の連合会学会では、香川大学の羽場先生に「病理部門におけるコンパニオン診断の現状と個別化医療への貢献」、久留米大学の河原先生より「分子病理検査における検体の取り扱いと細胞診材料を用いた遺伝子解析の試み」との演題でご講演を頂き、進歩の著しい分野での知見をご紹介頂きたいと思います。

蓄積された多くの知見は、病理細胞診の基盤となる形態学にも反映されています。熊本大学の三上先生には、「子宮頸部腫瘍の病理-最近の概念と問題点」との演題で、最新の考え方についてご講演いただきます。

前回の平成 19 年に鹿児島で開催された連合会学会の際には、あいにく台風が来襲し、プログラムの変更や懇親会場の変更があり、参加の皆様にご迷惑をおかけしました。今回は、鹿児島県内の会員一同で準備をおこない、前回できなかった分も含めて、皆様をおもてなししたいと思います。日頃の細胞診の研究成果を発表して頂くとともに、お互いの交流を深めていただけるよう、準備を進めてまいりました。多くの方々に鹿児島においていただけるよう、お待ちしております。

第 31 回日本臨床細胞学会九州連合会学会

学会長 北島 信一

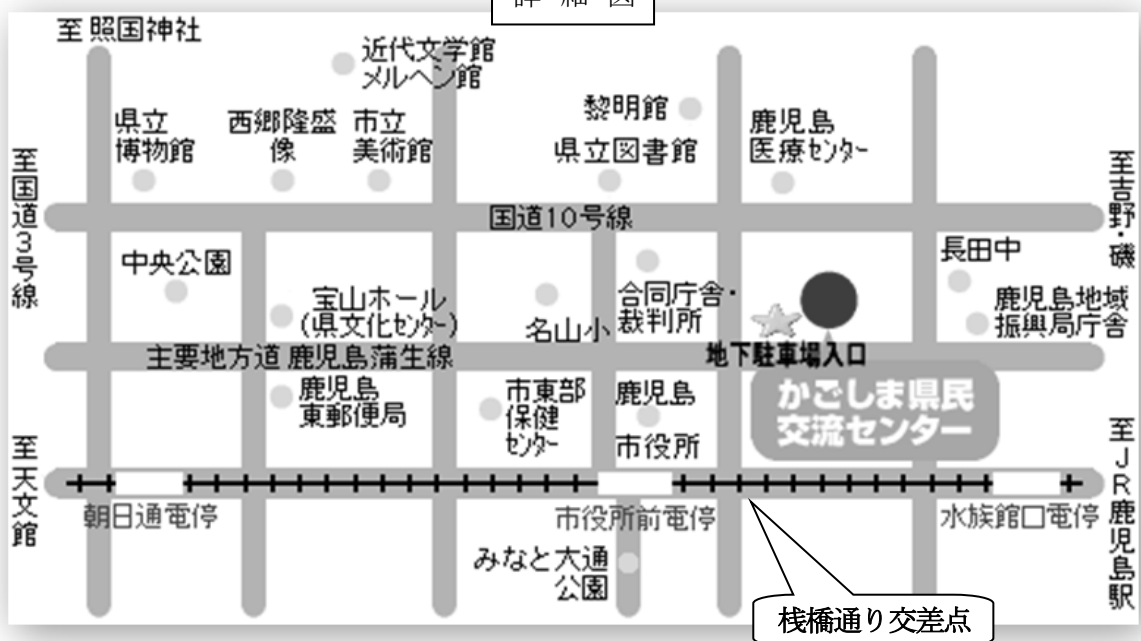
(国立療養所星塚敬愛園 研究検査科長)



《学会場 案内図》



詳細図



1. JR鹿児島駅から徒歩で 10分

JR鹿児島駅から市電に沿って700メートルほど進み「桟橋通り」交差点を右折、そのまま80メートルほど進むと、かごしま県民交流センターが見えます。

2. JR鹿児島中央駅から市電で 市電「水族館口電停」下車 徒歩4分

鹿児島中央駅から鹿児島駅前行きに乗る（およそ10分間隔で運行、所要時間約15分、大人運賃170円）「水族館口電停」で下車し、市電沿いに鹿児島中央駅方面に200mほど戻り、「桟橋通り」交差点を右折、そのまま80メートルほど進むと、かごしま県民交流センターが見えます。

3. JR鹿児島中央駅からバスで バス「水族館口」下車 徒歩5分

鹿児島中央駅東口ロータリーの東5、東6番乗り場から、天文館・市役所前・水族館前行きの市営バスに乗る（所要時間約10分、大人190円）「水族館口」で下車し、市電沿いに鹿児島中央駅方面に200mほど戻り、「桟橋通り」交差点を右折、そのまま80メートルほど進むと、かごしま県民交流センターが見えます。

4. 車で

鹿児島北ICから国道3号線を鹿児島市街方面へ4キロほど進み、「平田橋」交差点を左折し、照国神社前交差点を通過、城山入口交差点を右折し（左手に黎明館、鹿児島医療センター）、次の交差点を左折するとすぐ駐車場の入口が見えます。

※駐車場に限りがあります

（かごしま県民交流センター地下 500 台：2 時間まで無料、その後 30 分毎につき 150 円）

※認証処理が必要です。

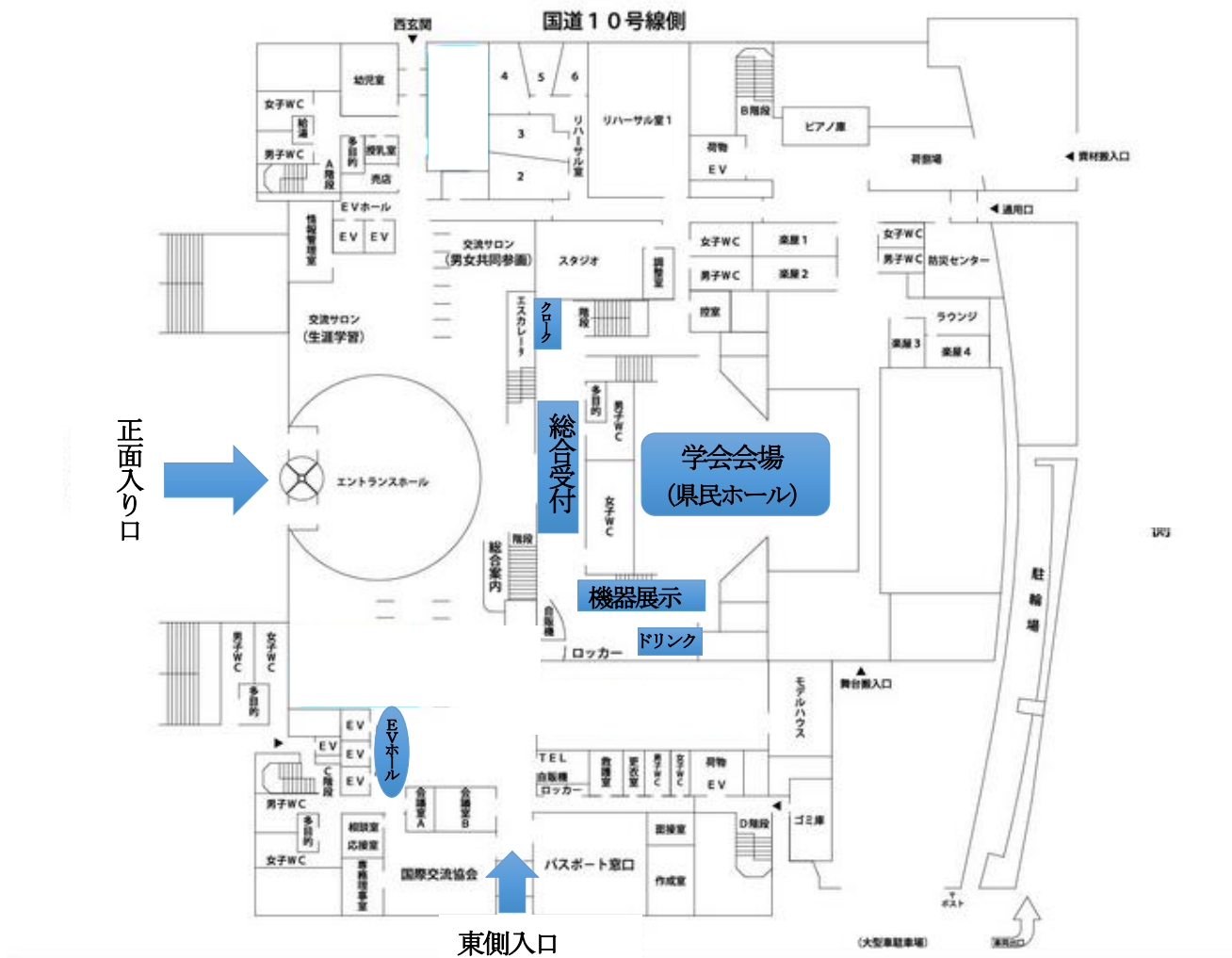
※できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

5. 鹿児島空港より

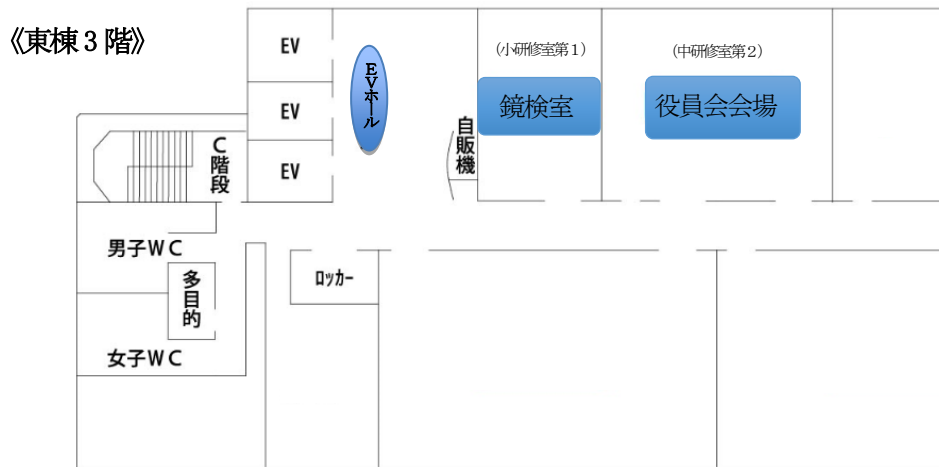
タクシーで約 50 分（12,000 円前後）

空港バスで約 60 分：鹿児島市内行きにて金生町もしくは市役所前で下車、徒歩約 10 分（1,250 円）

《会場 案内図》 かごしま県民交流センター



- 1 階：総合受付、クローク、機器展示、演題受付、ドリンクコーナー
- 3 階：役員会会場（東棟 中研修室第2）
スライドカンファレンス 鏡検室（東棟 小研修室第1）



【日 程 表】

7月25日 (土)	会場	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
	県民ホール		受 付 (11:00～)	一般演題: 11題 (13:00～14:50)		教育講演 I (15:00～16:00)	教育講演 II (16:00～17:00)	パネル ディスカッション	総会 (17:40～18:10)	
	鹿児島東急REIホテル									懇親会 (18:40～20:40) 東急REIホテル
	中会議室第2		役員会 (11:00～12:00)							
	楽屋 3				教育講演打合わせ (13:30～14:30)					
	県民ホールホワイエ			企業展示(11:30～18:00)						
	小会議室第1			鏡検室(11:00～17:00)						

7月26日 (日)	会場	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00
	県民ホール		受 付 (8:20～)	一般演題: 9題 (8:50～10:20)	招待講演 (10:30～11:30)	スライドカンファレンス: 5題 (11:40～13:00)	会場 挨拶
	楽屋 1			スラカン 打ち合わせ (8:50～10:20)			
	県民ホールホワイエ			企業展示(8:50～11:40)			
	小会議室第1			鏡検室(8:20～11:00)			

【ご 案 内】

1. 受 付

- ・県民ホール 1階ホワイエ
- ・平成27年7月25日(土) 11:00～17:00
- ・平成27年7月26日(日) 8:20～12:00
- ・専門医の方には参加証明書を受付にてお渡しいたします。※今回の単位は15単位となります。
- ・細胞検査士の方は検査士カードをご提出ください。
- ・日本産科婦人科学会専門医シール(10点)を発行いたしますので、必要な方はお申し出ください。

2. 参加費

- ・5,000円 引換に参加証・受領書をお渡ししますので、入場の際には必ずお付け下さい。
- ・学生(大学院生を除く)は無料とします。受付で学生証を提示して下さい。

3. 役員会

- ・第1日目 7月25日(土) 11:00～12:00
- ・会 場：かごしま県民交流センター 東棟3F 中研修室第2

4. 一般演題発表者の方へ

- ・発表予定の1時間前までに受付をお済ませ下さい。
- ・発表時間は7分・質疑応答は3分です。時間厳守でお願いします。
- ・データの開閉は学会スタッフが行いますが、発表は演者ご自身で演壇上に設置されているマウスあるいはポインターを操作して下さい。
- ・発表の10分前までに次演者席にお着き下さい。

5. 招待講演・教育講演の演者の方へ

- ・予定時刻の1時間前までに受付を済ませ、10分前までに次演者席にお着き下さい。

6. 座長・司会の方へ

- ・予定時刻の30分前までに受付を済ませ、10分前までに次座長席にお着き下さい。

7. スライドカンファレンスについて

※今回より、学会ホームページからも閲覧・投票ができます(<http://koscc.jp/>)

- ・鏡検室：かごしま県民交流センター 東棟3階 小研修室第1
- ・鏡検時間：7月25日(土) 11:00～17:00 7月26日(日) 8:30～11:00
- ・回答(投票)締め切りは、学会ホームページ上では7月20日(月)、学会当日会場では7月25日(土) 17:00となります。
- ・投票箱は症例掲示パネルの所に設置いたします。

8. 昼 食

- ・7月25日(土)は各自でお取り下さい。
- ・7月26日(日)は13:10で終了です。

9. 機器展示

- ・会 場：県民ホール 1階ホワイエ
- ・7月25日(土) 11:30～18:00 7月26日(日) 8:50～11:40

10. 懇親会 トワイライトミーティング 〜だれやめ〜

- ・ 7月25日(土) 18:40～20:40
- ・ 会 場：鹿児島東急REI ホテル(旧鹿児島 東急 INN) ※案内地図をご参照ください。
- ・ 会 費：4,000円(学会受付時にお申し込み下さい。懇親会会場でも受付けます。)鹿児島島の物産品が当たる抽選会や、幻の焼酎3M「森伊蔵」「村尾」「魔王」を含む鹿児島焼酎の「利き焼酎大会」も予定しています。多数のご参加をお待ちしております。

11. 駐車場

- ・ かごしま県民交流センター地下駐車場(500台)がご利用できます。2時間まで無料(認証処理が必要)、そのあとは30分毎に150円

12. その他

- ・ 盛夏開催のため、クールビズといたします。
- ・ 皆様、軽装でご参加下さるようお願い申し上げます。

【発表される方へのお願い】

- ※・ 全てPCによる発表とし、一般演題は7分、質疑応答3分です。
- ・ PCの持ち込みは認めません。また、音声・動画には対応しておりません。
- ・ 事前に提出された発表データの変更は認めません。
- ・ お送りいただいたCD-Rは、学会時に返却いたします。

◎発表時のデータについて

- ・ 発表データはPower Point 2007、2010データで作成して下さい。
 - ・ 発表用PC環境は、OSはWindows7、ソフトはPower Point 2007、2010の形式で保存の上、動作を確認して下さい。(Macは不可)
 - ・ 発表データはCD-Rに保存し、事前に **〔平成27年7月17日(金) 必着〕** 学会事務局までお送り下さい。
- (送付先) 第31回日本臨床細胞学会九州連合会学会事務局
〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1
鹿児島大学病院 病理部・病理診断科内(担当：舞木公子)
TEL：050-3718-0031
E-mail：cytologykg-secretary@umin.ac.jp

◎データ作成について

- ・ 一般演題のファイル名は「演題番号 演者名.ppt」として下さい。
(例：01 鹿児島太郎.ppt) ※「.ppt」は半角です。
- ・ 描画レイアウトのバランス崩れを防ぐために使用フォントは「MSゴシック」あるいは「MS明朝」をお奨めします。
- ・ メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルス駆除ソフトでチェックして下さい。
- ・ コピーミスを防ぐため、データ作成後、他のPCで正常に作動するかチェックして下さい。
- ・ 発表時はPCのパフォーマンスを上げるため、データをハードディスクへコピーさせていただきます。学会発表後はデータの消去を行います。

◎発表者の当日の手順

1. 参加受付後、発表1時間前までにPC受付へお越し下さい。発表データを確認していただきます。
但し、発表1時間前までに間に合わない方はその旨を学会事務局まで事前にご連絡下さい。
2. お送りいただいたCD-Rをお返しします。
3. 念のために、バックアップとして、発表時には発表データのコピーをご携帯下さい。
4. 発表の10分前までに次演者席にお着き下さい。

〔懇親会〕 トワイライトミーティング ～だれやめ～

平成27年7月25日(土) 18:40～20:40

会 場：鹿児島東急REIホテル

鹿児島市中央5-1

※かごしま県民交流センターから送迎バスが出ます

※鹿児島の物産品が当たる抽選会や、幻の焼酎3M「森伊蔵」「村尾」「魔王」を含む鹿児島焼酎の「利き焼酎大会」も予定しています。



- ・市電「水族館口電停」から鹿児島中央駅行に乗り、「高見橋」下車、徒歩1分です。

第1日目 平成27年7月25日(土)

<開会挨拶> 12:55~13:00

学会長 北島 信一(国立療養所星塚敬愛園 研究検査科長)

<一般講演 I 呼吸器・甲状腺・消化器> 13:00~13:40

座長: 白濱 浩(MD)(今給黎総合病院 病理診断科)

紫垣 まどか(CT)(国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院 病理診断科)

1. 術中肺捺印細胞診断が困難であった紡錘細胞型カルチノイドの1例

国立病院機構 南九州病院 臨床検査科

○宮良聖佳(CT) 伊藤俊二(CT) 船瀬将一(CT) 脇本譲二(MD)

2. 肺原発軟骨肉腫の1例

独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院 中央検査室¹⁾ 同臨床病理検査科²⁾

産業医科大学 第1病理学教室³⁾, 第2病理学教室⁴⁾

○西山純司(CT)¹⁾ 安部拓也(CT)¹⁾ 玉城真太(CT)¹⁾ 立岩友美(CT)¹⁾ 豊嶋憲子(CT)¹⁾

奥菌学(CT)¹⁾ 大内清子(MD)²⁾ 笹栗毅和(MD)²⁾ 野口弘嗣(MD)⁴⁾ 久岡正典(MD)³⁾

3. 甲状腺びまん性硬化型乳頭癌の二例

社会医療法人 博愛会相良病院 病理診断科¹⁾

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科腫瘍学講座病理学分野²⁾

○北園暢子(CT)¹⁾ 前田ゆかり(CT)¹⁾ 永尾聡子(CT)¹⁾ 皆倉愛美(CT)¹⁾

畑中一仁(MD)²⁾ 大井恭代(MD)¹⁾

4. 上咽頭に発生したSynovial sarcomaの1例

佐賀大学医学部附属病院病理部¹⁾、佐賀大学医学部耳鼻咽喉科²⁾、佐賀大学医学部病因病態科学³⁾

○北村捷(MT)¹⁾ 甲斐敬太(MD)¹⁾ 佐藤慎太郎(MD)²⁾ 中村光男(CT)¹⁾ 次富久之(CT)¹⁾

山崎真希子(MD)^{1),3)} 増田正憲(MD)³⁾ 高瀬ゆかり(MD)³⁾ 倉富勇一郎(MD)²⁾ 相島慎一(MD)^{1),3)}

<一般講演 II 泌尿器> 13:40~14:10

座長: 大谷 博(MD)(白十字病院 臨床検査科)

小材 和浩(CT)(福岡赤十字病院 病理診断科)

5. 尿細胞診で判定に苦慮した膀胱腫瘍の1例

宮崎大学医学部附属病院 病理部¹⁾ 同病理診断科²⁾ 同泌尿器科³⁾

同病理学講座構造機能病態学分野⁴⁾

○黒木栄輝(CT)¹⁾ 野口裕史(CT)¹⁾ 徳満貴子(CT)^{1),4)} 神田修司(MT)¹⁾ 峰松映子(CT)¹⁾

西川詩織(MT)¹⁾ 大野招伸(CT)¹⁾ 木田和貴(MD)³⁾ 賀本敏行(MD)³⁾ 前川和也(MD)^{2),4)}

佐藤勇一郎(MD)^{1),2)}

6. 胞巣型浸潤性尿路上皮癌の尿細胞診

社会医療法人 製鉄記念八幡病院検査部¹⁾ 病理診断科²⁾ 泌尿器科³⁾

○尾坂 明美(CT)¹⁾ 土器 若穂(CT)¹⁾ 西堂園 紀子(CT)¹⁾

下釜 達朗(MD)²⁾ 金城 満(MD)^{1),2)} 奥村 幸司(MD)³⁾

7. 泌尿器細胞診新報告様式に係る診断精度向上への取り組み

産業医科大学第1病理¹⁾ 産業医科大学病院病理部²⁾

同若松病院臨床検査・輸血部³⁾ 製鉄記念八幡病院病理診断科⁴⁾

○岩井 幸子(CT)¹⁾ 松山 篤二(MD)¹⁾ 久岡 正典(MD)¹⁾ 岡 ハル子(CT)²⁾ 小原 光祥(CT)²⁾

島尻 正平(MD)²⁾ 中島 悠貴(CT)³⁾ 下釜 達朗(MD)⁴⁾ 金城 満(MD)⁴⁾

<一般講演 III その他> 14:10~14:50

座長：島尾 義也(MD) (宮崎県立宮崎病院 病理診断科)

佐藤 啓司(CT) (大分赤十字病院 検査部病理検査課)

8. 診断に苦慮した耳下腺発生の多型低悪性度腺癌

福岡大学病院 病理診断科・病理部¹⁾ 福岡大学医学部 病理学²⁾

○相知 優子(CT)¹⁾、松本 慎二(CT)¹⁾、青木 光希子(MD)²⁾、小島 勝己(CT)¹⁾、大石 朋子(CT)¹⁾

原川 政彦(CT)¹⁾、西中村 恵輔(CT)¹⁾、鍋島 一樹(MD)^{1),2)}

9. 右側胸壁に発生した明細胞肉腫の1例

鹿児島大学病院病理部・病理診断科¹⁾ 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科腫瘍学講座病理学分野²⁾

○窪田恵美(CT)¹⁾ 西田ゆかり(CT)¹⁾ 竹下かおり(CT)¹⁾ 田中和彦(CT)¹⁾

義岡孝子(MD)¹⁾ 平木翼(MD)²⁾ 東美智代(MD)²⁾ 畑中一仁(MD)²⁾ 谷本昭英(MD)^{1),2)}

10. 精巣に発生した混合型胚細胞腫瘍の1例

済生会熊本病院 中央検査部 病理

○中川 美弥(CT) 杉野 佳澄(MT) 木下 史暁(MT) 鯨島 彩香(CT) 近藤 妙子(CT)

松岡 拓也(CT) 田上 圭二(CT) 神尾 多喜浩(MD)

11. 新しく樹立したMerkel 細胞癌株、MKA-1 の細胞学的特徴

古賀総合病院検査技術部¹⁾ 古賀総合病院皮膚科²⁾ 宮崎大学医学部附属病院病理部³⁾、

宮崎大学医学部病理学講座構造機能病態学分野⁴⁾ 宮崎大学医学部附属病院検査部⁵⁾

古賀総合病院臨床検査部⁶⁾ 古賀総合病院内科⁷⁾ 宮崎大学医学部内科学講座免疫感染病態学分野⁸⁾

○荒武八起(CTIAC, PhD)^{1),8)} 清山和昭(CTIAC)¹⁾ 白濱幸生(CTIAC)¹⁾ 柏田奈菜(MT)¹⁾

帖佐宣昭(MD)²⁾ 津守伸一郎(MD)²⁾ 緒方克己(MD)²⁾ 大野招伸(CTIAC, PhD)³⁾ 山下篤(MD)⁴⁾

梅木一美(PhD)⁵⁾ 南嶋洋一(MD)⁶⁾ 栗林忠信(MD)⁷⁾ 野村創(PhD)⁸⁾ 岡山昭彦(MD)⁸⁾

休 憩 14:50～15:00

<教育講演 I> 15:00～16:00

座長：畑中 一仁（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科腫瘍学講座病理学分野）

『 分子病理検査における検体の取り扱いと細胞診材料を用いた

遺伝子解析の試み 』

久留米大学病院 病理診断科・病理部

河原 明彦 先生

<教育講演 II> 16:00～17:00

座長：畑中 一仁（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科腫瘍学講座病理学分野）

『 病理部門におけるコンパニオン診断の現状と個別化医療への貢献 』

香川大学医学部附属病院 病理診断科・病理部

羽場 礼次 先生

<パネルディスカッション> 17:00～17:30

座長：畑中 一仁（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科腫瘍学講座病理学分野）

パネリスト：河原 明彦 先生（久留米大学病院 病理診断科・病理部）

羽場 礼次 先生（香川大学医学部附属病院 病理診断科・病理部）

休 憩 17:30～17:40

<総 会> 17:40～18:10

<懇親会 トワイライトミーティング ～だれやめ～ > 18:40～20:40

第2日目 平成27年7月26日(日)

<一般講演Ⅳ 体腔液、その他> 8:50~9:30

座長：木佐貫 篤(MD) (宮崎県立日南病院 病理診断科)

小松 由明(CT) (九州大学病院別府先進医療センター 検査室)

12. 胸水にて2種類の形態を呈し出現した肺腺癌の1例

国立病院機構九州がんセンター統括診療部臨床検査科¹⁾ 病理診断科²⁾ 呼吸器腫瘍科³⁾

○今村 彰吾(CT)¹⁾ 小田澤 由貴(CT)¹⁾ 宮久 禎(CT)¹⁾ 染矢 賢俊(CT)¹⁾ 北里 謙二(CT)¹⁾

藤田 綾(MD)²⁾ 伏見 文良(MD)²⁾ 田口 健一(MD)²⁾ 竹之山 光広(MD)³⁾

13. 卵巣漿液性境界悪性腫瘍と卵巣漿液性腺癌との腹水中出現細胞における細胞核径の検討

福岡赤十字病院 病理診断科¹⁾ 同産婦人科²⁾

○今林尚美(CT)¹⁾ 遠矢浩隆(CT)¹⁾ 碓益代(CT)¹⁾ 小材和浩(CT)¹⁾ 衛藤貴子(MD)²⁾

遠城幸子(MD)²⁾ 西田眞(MD)²⁾ 西山憲一(MD)¹⁾ 中島豊(MD)¹⁾

14. 直腸・肛門管洗浄細胞診が有用であったクローン病合併肛門管癌の2例

福岡大学筑紫病院病理部

○尾形智子(CT) 南部雅美(CT) 山田静佳(CT) 林田涼(CT)

田邊寛(MD) 池田圭佑(MD) 原岡誠司(MD) 岩下明德(MD)

15. 院内検査としての Quenching probe 法による EGFR 遺伝子変異解析方法の有用性について

福岡大学筑紫病院 病理部

○林田涼(CT) 暉本優子(MT) 南部雅美(CT) 尾形智子(CT) 原岡誠司(MD) 岩下明德(MD)

<一般講演Ⅴ 婦人科> 9:30~10:20

座長：末吉 和宣(MD) (鹿児島市立病院 臨床病理科)

福田 早織(CT) (宮崎県立宮崎病院 臨床検査科)

16. 子宮原発悪性リンパ腫の1例

熊本市立熊本市市民病院 病理診断科¹⁾ くまもと森都総合病院 病理診断科²⁾

○志賀有紗(CT)¹⁾ 河野公成(CT)¹⁾ 松本律男(CT)¹⁾ 山田智子(CT)¹⁾ 三浦真嗣(MT)¹⁾ 塩津知絵美(MT)¹⁾

豊住康夫(MD)¹⁾ 有馬信之(MD)²⁾

17. 子宮頸部絨毛腺管状乳頭腺癌の一例

地方独立行政法人大牟田市立病院 中央検査部¹⁾ 病理診断科²⁾

○境加津代(CT)¹⁾ 鳥飼真由美(CT)¹⁾ 松本直子(CT)¹⁾ 岩田剣士郎(MT)¹⁾ 島松一秀(MD)²⁾

18. 子宮頸部小細胞癌の2例

九州大学病院病理診断科・病理部¹⁾ 九州大学大学院医学研究院生殖病態生理学²⁾

九州大学大学院医学研究院保健学部³⁾ 九州大学大学院医学研究院形態機能病理学⁴⁾

○中附加奈子(CT)¹⁾ 大久保文彦(CT)¹⁾ 仲 正喜(CT)¹⁾ 矢幡秀昭(MD)²⁾ 兼城英輔(MD)²⁾

園田顕三(MD)²⁾ 加藤聖子(MD)²⁾ 加来恒壽(MD)³⁾ 大石善丈(MD)⁴⁾ 小田義直(MD)^{1),4)}

19. 子宮頸部細胞診を契機に発見された atypical polypoid adenomyoma (APAM) の一例
佐賀大学産婦人科¹⁾ 佐賀中部病院検査部²⁾ 佐賀県医療センター好生館産婦人科³⁾
佐賀中部病院産婦人科⁴⁾
○野口光代(MD)¹⁾ 西山哲(MD)¹⁾ 橋口真理子(MD)¹⁾ 大隈恵美(MD)¹⁾ 山崎文朗(MD)²⁾
内山倫子(MD)¹⁾ 安永牧生(MD)³⁾ 金井督之(MD)⁴⁾ 中尾佳史(MD)¹⁾ 横山正俊(MD)¹⁾
20. 宮崎県立日南病院における若年者婦人科細胞診の成績
宮崎県立日南病院 臨床検査科¹⁾ 同 産婦人科²⁾ 病理診断科³⁾
○佐野亜由美(CT)¹⁾ 谷口康郎(CT)¹⁾ 古田賢(MD)²⁾ 木佐貫篤(MD)³⁾

休 憩 10:20~10:30

<招待講演> 10:30~11:30

座長: 北島 信一 (国立療養所星塚敬愛園 研究検査科長)

『 子宮頸部腫瘍の病理-最近の概念と問題点 』

熊本大学医学部附属病院 病理診断科 三上 芳喜 先生

<スライドカンファレンス> 11:40~13:00

司会: 東 美智代(MD) (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科腫瘍学講座病理学分野)
田中 和彦(CT) (鹿児島大学病院 病理部・病理診断科)

症例1 婦人科:	くまもと森都総合病院 病理診断科	有馬 信之 先生
症例2 呼吸器:	長崎大学病院 病理診断科	木下 直江 先生
症例3 泌尿器:	製鉄記念八幡病院 病理診断科	下釜 達朗 先生
症例4 乳腺:	宮崎県立宮崎病院 病理診断科	島尾 義也 先生
症例5 軟部腫瘍:	大分大学医学部 診断病理学講座	西田 陽登 先生

<閉会挨拶> 13:00~

<招待講演>

『 子宮頸部腫瘍の病理-最近の概念と問題点 』

熊本大学医学部附属病院病理診断科 三上 芳喜 先生

子宮頸部腫瘍の WHO 分類が 2014 年に改訂された (WHO 分類第 4 版)。新分類において注目すべき点は扁平上皮癌の前駆病変の名称変更と頸部腺癌の枠組みの再編である。

外陰部、膣、子宮頸部の扁平上皮内腫瘍はそれぞれ VIN、VAIN、CIN と呼ばれていたが、米国病理学会 (CAP) と米国コルポスコピー・頸部病理学会 (ASCCP) による LAST プロジェクト (2012 年) の提言を踏まえ、細胞診用語である扁平上皮内病変 squamous intraepithelial neoplasia (SIL) を組織診断名として採用した。すなわち子宮頸部扁平上皮前駆病変は CIN1~CIN3 の 3 分類から LSIL、HSIL の 2 分類となった。その根拠として細胞診判定と組織診断の整合性が期待できること、病理医による CIN2 と CIN3 の判別の再現性が低いこと、CIN2 以上が治療対象となること、などが挙げられる。しかし、本邦の多くの施設では依然として CIN2 は経過観察、CIN3 は円錐切除ないし LEEP の適応となるために、実際の診断にあたっては混乱を避けるため病理医は HSIL と CIN2 ないし CIN3 を併記することが望ましい (例、HSIL/CIN2 あるいは HSIL/CIN3)。また、新分類では細胞異型が重層扁平上皮の下 1/3 にとどまってもその程度がコンジローマでみられる異型の程度をこえる場合は HSIL として診断するべきであると明記されている。すなわち、LSIL が HPV の一過性感染として厳密に定義される一方で、従来 CIN1 と診断されていた病変の一部が HSIL として扱われることになった。

子宮頸部腺癌は粘液性腺癌、類内膜腺癌、明細胞腺癌、漿液性腺癌、中腎腺癌に分けられ、粘液性腺癌の中に内頸部型、腸型、印環細胞型、最小偏倚型 (いわゆる悪性腺腫)、絨毛腺管型が含まれていた。内頸部型粘液性腺癌がこれらの中で最も頻度が高く、頸部腺癌全体の 90%程度を占めていたが、その多くは実際には細胞質内粘液に乏しいため、通常型 (usual type) 腺癌に名称が変更となり、真の粘液性腺癌が分離された。この中には従来通り腸型、印環細胞型が含まれるが、今回の改訂では胃型腺癌 gastric type adenocarcinoma (GAS) が新たな組織亜型として加わり、最小偏倚腺癌が極めて分化度の高い胃型腺癌の特殊型として位置づけられた。そして、絨毛腺管癌は通常型腺癌、粘液性腺癌、漿液性腺癌などと並ぶ独立した亜型となった。通常型腺癌と腸型粘液性腺癌の多くは HPV 関連腫瘍であるのに対して、胃型腺癌、明細胞腺癌、漿液性腺癌、中腎腺癌などの特殊な腺癌では HPV が陰性、あるいは検出される頻度が低いいため、HPV DNA テストおよび HPV ワクチンのピットフォールとなる組織亜型であることを理解しておく必要がある。特に胃型腺癌は本邦で頻度が高いため、その取扱いが今後議論されていくことになる。